

たものを更に精査し、実際に補助金が適正に使われているかどうかを判断して、平成26年度の決算に臨みたい。

③NPO法人に登録する際に会員の協力体制、中身についてもしっかりと審査を受けており、正当性があるものと考えている。

学校給食の運営

中島里司 議員

子どもの成長に「食」は大切なものであると、当町では早くから「食育」に取り組んでいる。この1年間に数回の異物混入があったと聞いているが、次のことについて、教育委員会の考えを伺う。

①事件の内容、原因
②父母等への対応
③町への報告
④責任は
三澤教育委員長
①5月22日、ごはんの中

に給食センターの連続炊飯器から欠落した金属ナットが混入していた。6月26日、食器に食器がこのナイロンコーティングの破片が付着。原因は食器がこの劣化。7月8日、野菜スープにコバエ1匹が混入。原因は不明だが、野菜の洗浄を更に徹底するようにした。8月27日、ちくわの中に金属片が混入。原因は製造納入業者が製造工程で使ったゴムペラの留め具が破損し、原料に混入されたまま出荷されたため。2月9日のアルミニウムの小片混入については、本定例会で行政報告したとおり。

②喫食を中止した時は、混入の経過や再発防止対策についての説明と謝罪の文書を配布した。

③学校給食衛生管理マニュアルに基づき、保健所に事故報告するとともに、施設管理者である町に報告した。

④責任は施設を管理運営する教育委員会にあると



給食センターでは、更に徹底した衛生管理がされている

認識している。

予算編成及び事業実施における考え

鈴木孝寿 議員

事業実施における優先順位の判断は総合計画に基づき行われていると考える。その基となるのが執行方針であるが、方針を受けて各課が考える取り組みの方向性が定まっていまいと感じる。

①各担当課がその年度の方針を持つことは、職員の間で意思統一を図り、事業の推進に対して必要と考えるが、現状は存在しない。その必要性はいかがか。

②町民または関係団体の

声は、差し戻された場合、理事者の裁量によるもの回答が多いと聞く。役場職制機能から考えた場合、理事者の裁量というのはどのように捉えているのか。説明責任を各課においてどのように果たすべきか。

③物品購入や入札行為において業者選定の際、事業規模や事業内容によっては町外業者を選定することがあるが、町内業者を育成する目的を持って臨むべきと考える。町長の基本的な考えを伺う。

高薄町長

①各課の中で相当議論して意思統一を図らなければ、地方創生に向けた対策はできないので、課での協議を義務付けるような方向で考えていきたい。

②陳情・要望の中には事情を聞けない部分もあり、行き違いの部分もあると思つ。

町民の要望を予算に取り入れるために適した時期や手順を明確化し、断

る際には理由の説明責任をしっかりと果たすよう改善していく。

③町内の事業者を守る、雇用を守る、また、将来に向かって振興や推進を図ることを考え、できるだけ町内業者を選定するよう努めている。取り扱っていない物品や人力的にできない工事にしても、町内業者を通じて発注したり、商工会を通じて複数の事業者で共同でやってもらうなどの方法で進めていきたい。

新年度予算編成過程

原 紀夫 議員

まちづくり懇談会で出された要望、議会での答弁、町長選挙後の相手候補の公約についても精査するとしていた件について、新年度予算にどう反映させているか。

12月の議会で「合同墓は将来的に必要」と答えていたが、その後の町民の反響は大きい。設置を早める考えはないか。

また、本年は除雪費の出費が多いが、排雪された雪の処理に悩む町民が多い。対策を伺う。

高薄町長

まちづくり懇談会で出された要望は事業化を検討し、すでに総合計画に入っているものは、見直しの中で優先順位を考えていく。

議会で答弁したことは、各課に検討案件として計



ぼかぼか陽気の中、外に出た子どもたち (清水幼稚園)